

【エクアドル内政：2016年4月】

1. 内政

(1) デモの発生

- (ア) 4月7日、当地において全国規模の集会・デモが実施された。反政府派は政府が国会へ提出した税制改革に反対し、キトのみならず、クエンカ、アンバト、グアヤキルにおいてもデモが実施された。なお、政府派は、独立広場において、集会を実施した。
- (イ) また、4月14日、当地において、税制改革法案等の法改正及び政府からの未払いに対し抗議する全国規模（キト、グアヤキル、エスメラルダス）の反政府派集会・デモが実施された。独立広場で行われた政府派集会では、デモ参加者の中にAP所属議員や数名の大臣の姿が見られた。コレア大統領は、大統領府のバルコニーから独立広場に集合した政府派集会参加者に対し、17分にわたる演説を行った。その演説において、大統領は、反政府派の集会は失敗に終わり、このような反政府派の抗議は、政策に反対するという意味だけでなく、国の混乱を招こうとするものであると批判した。

(2) 地震の発生

- (ア) 4月16日18:58（日本時間17日8:58）、エクアドルの北西部に位置するマナビ県（ペデルナレスとコヒミエスの間）でマグニチュード7.8の地震が発生した。震源の深さは20キロ、この地震による津波の発生はなかった。（5月11日現在、死者数660人、避難者数28,911人、（7,633世帯））
- (イ) 現地時間4月16日21:10、グラス大統領代行（コレア大統領は地震発生時バチカンを訪問中）は記者会見を実施し、エクアドル国民に対して落ち着いて行動するよう呼びかけ、2次被害が出ないように注意喚起した。さらに、国家緊急委員会を立ち上げ、海岸地域を含む6県（マナビ県、サンタ・エレナ県、サント・ドミンゴ・デ・ロス・タチラス県、ロス・リオス県、エスメラルダス県、グアヤス県）に緊急事態宣言を発出した。また、危機管理庁は、同6県に対し、危険情報（赤）を発出。警察、軍などを投入して対応すると発表した。
- (ウ) 4月17日、コレア大統領はマナビ県マンタ市入りし、同市の視察、記者会見を行った。
- (エ) 4月18日、コレア大統領は、震災復興に関するオペレーション総括及び各都市・地域の責任閣僚を以下のとおり決定した。また、緊急事態宣言に基づき、政府は国軍を人命救助のため全面的に動員すると発表した。

- 総括：パティニーニョ国防大臣及びナバス治安調整大臣
- 総括補助：ハラミージョ危機管理庁長官
- グラス副大統領：マンタ市
- ベルナル国家水資源庁長官：ポルトビエホ
- セラノ内務大臣：ペデルナレス
- パボン国家政策庁長官：ハマおよびカノア

(オ) コレア大統領は、4月21日付で震災復興資金確保を目的とした税制法案を緊急案件として国会へ提出した。主な内容は、付加価値税の引き上げ、個人、法人からの追加課税、被災地における税制優遇等。

(カ) 4月23日付大統領令第1003号により、23日から8日間を国民哀悼期間とした。

(キ) 4月26日付大統領令第1004号により、4月16日の地震による被災地の再建及び生産活動及び雇用の再活性化のために、以下のメンバーによって構成される「再建・生産活動再活性化委員会」を立ち上げた。右委員会は、官民、国際社会と調整しつつ復興計画を作成し、分野横断的な復興チームを立ち上げ、再建と復興に向けた計画を推進する。なお、同大統領令により、再建・生産活動再活性化技術委員会が設立されたほか、財務省は国家予算に地震からの復興に特化した項目を設けることとなった。

- グラス副大統領（コレア大統領の代理として総括）
- ナランホ国家企画開発庁長官
- パボン社会開発調整大臣
- アルバラーダ生産・雇用・競争性大臣
- ナバス治安調整大臣
- マナビ県知事
- 被災地の市政府代表（市役所連盟により選出される市長2人）
- マナビ製造業会議所及びマナビ県の中小企業の代表、合計2名（投票権なし）。

(ク) なお、本震災に対し、日本政府は4月20日、JICAを通じて1900万円相当の緊急援助物資を供与（テント800張、毛布800枚、スリーピング・パッド810枚）を決定、23日に同物資をエクアドル側に引き渡した。また、中国、韓国、台湾、米国、カナダ、スペイン等のヨーロッパ諸国等が緊急援助を実施した。

(ケ) 4月22日、国連はジュネーブにおいて、7,300万ドルの資金拠出を国際社会に求めるフラッシュ・アピールを発出した。さらに、世界銀行は1億5千万ドルのコンティンジェンシー・ローン、米州開発銀行が3億ドルのコンティンジェンシー・ローン及び20万ドルの無償資金協力、アンデス開

発基金が1億ドルのコンティンジェンシー・ローン及び20万ドルの無償資金協力を発表した。

2. 外交

(1) コレア大統領の外遊

(ア) コレア大統領は、4月10日から13日、米国を訪問し、ニューヨークとシカゴにおいて自身がナビゲーターとして出演したエクアドル観光推進テレビ番組「ザ・ロイヤル・ツアー」の宣伝を行った。

(イ) 4月14日にはバチカン入りし、17日まで滞在する予定であったが、16日の地震発生を受け、予定を変更して被災地へ向かった。

(了)